

HP Continuous Delivery Automation

リリースノート

ソフトウェアバージョン: 1.20 2013 年 4 月

このドキュメントは、HP Continuous Delivery Automation (HP CDA) リリース 1.20 の概要を記します。マニュアルやオンラインヘルプには記載されていない重要な情報が含まれています。

このバージョンについて
ドキュメントの更新情報
インストールノート
既知の問題、制限、回避策
サポート
ご注意

このバージョンについて

HP Continuous Delivery Automation (HP CDA) は、DevOps コラボレーション、アプリケーションデプロイメントの自動化、およびモニタリングに対するモデル駆動型のアプローチを提供します。HP CDA を使用することで、プロビジョニングおよびデプロイメント作業に伴うコスト、リスク、時間を削減しながら、お客様のコアアプリケーションに注力し、ビジネスの価値を追求することができます。HP CDA のコア機能には次のものがあります。

- アプリケーションおよびインフラストラクチャー構成のモデル化による、デプロイメントおよびプロビジョニングのためのコード化されたインフラストラクチャーの実現
- フル機能のアーティファクトバージョン制御、役割に基づくアクセス、アプリケーションライフサイクル管理、確定版ソフトウェアライブラリ (DSL)
- 構成可能なツールオプションによるアプリケーションデプロイメント管理
- ハイブリッド環境全体にわたるインフラストラクチャープロビジョニング管理
- アプリケーションデプロイメントと関連した埋め込みモニタリングデプロイメント

サポートされるハードウェアおよびソフトウェアの詳細については、下記で入手できる『HP Continuous Delivery Automation Platform and Software Support Matrix』を参照してください。 <http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

ドキュメントの更新情報

このドキュメントの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- バージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- 発行日は、ドキュメントが更新されるたびに変更されます。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。

<http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>

インストールノート

HP Continuous Delivery Automation のインストール要件とインストール方法は、Adobe Acrobat (.pdf) 形式の『HP Continuous Delivery Automation インストールおよび構成ガイド』に記載されています。このドキュメントのファイルは、製品の電子メディアの次のフォルダーにあります。

- [cda-iso-1.20\CDA 1.20\Documentation](#)

目次

リリースノート	1
このバージョンについて	1
ドキュメントの更新情報	1
インストールノート	1
既知の問題、制限、回避策	4
一般	4
HP は次の Microsoft セキュリティベストプラクティスを推奨	4
CDA モデルは Unix シェルおよび Windows PowerShell スクリプトツールだけをサポートする	4
韓国語 Linux プラットフォームに HP CDA をインストールできるが、サービスを開始できない	4
HP CDA 1.10 でパスワード暗号化が有効になっていると、インストールウィザードがアップグレード中に停止する	5
Unicode 文字の名前を持つサーバーグループは正常に追加できるが、グループの詳細を取得できない	5
ローカライズされた日付/時刻形式が正しく表示されない	5
アプリケーション	5
デプロイメントが失敗しても SA ジョブのステータスが「進行中」のままになる	5
HTTPS を外部ソースとして使用した場合、パスワードを完全な URL 文字列に格納するか、ワイルドカード文字 * を使用する必要がある	6
アプリケーションデプロイメントが失敗したにもかかわらずアプリケーションデプロイメントステータスが「成功」になる	6
プラットフォーム	6
プラットフォームソフトウェア接続で構成されたポートが、HPCS でプロビジョニングされたセキュリティグループで有効にならない	6
モニター	6
デプロイ済みアプリケーションにモニタリングツールを適用できない	6
1 つのモニター定義を複数のパラメーター定義で同じポリシーに追加できない	7
複数の HP SiteScope システムから同じ HP SiteScope ポリシーを同じターゲットディレクトリにデプロイできない	7
クラウド管理ダッシュボード、クラウドインストールダッシュボード、クラウドコネクター	7
プロジェクトトポロジが失敗状態のとき、そのトポロジを終了できない	7
HP CDA および HP CSA に対する提案を適用した後で、HP CDA クラウドインストールダッシュボード UI で値を変更しても、HP CDA および HP CSA に反映されない	8
サービス定義で切り詰めが生じ、以後のプロビジョニングが失敗する	8
[ドキュメントのインポート] ボタンによるドキュメントのインポートが失敗する	8
サイズ制限内に見えるボリュームの作成が失敗する	8
インフラストラクチャー内のサーバーグループコンポーネントに対してオペレーティングシステムが表示されない	9
クラウドコネクターとドメインコントローラーが同じノードにある場合に、HPCS へのアクセスまたは外部イメージのアップロードが失敗する	9
HP CDA との統合	10
マルチテナントが ALM でサポートされない	10
CSA の公開で定義済みのプール値が使用できない	10
HP ALM で、同じまたは新しい HP CDA サーバーを追加すると、HP ALM から HP CDA への接続が失敗する	10
HPCS で、パラメーター {server.hostname} がプロビジョニング時とデプロイメント時で異なる値を返す	11
クラウド上でプロビジョニングされるサーバーのパブリック IP に HP CDA でアクセスできない	11
ALM がビルド検証中にレポートページを起動できない	11
Matrix Operating Environment テンプレートで ICMP を有効にするとファイアウォールで負のポートが使用できない	12

Chef がデプロイヤープラグインとして使用されている場合、HP Operations Manager エージェントがデプロイされない	12
HP CDA-OM 統合インストーラーがイベントの転送 Groovy スクリプトを開始する際に既存の.jar ファイルを使用しない	12
「依存するサービスのチェック」アクションが間違っただレベルに存在する	13
HP OM サーバーとエージェントが HPCS クラウド内にある場合に、コンテキスト URL とアラートが動作しない	13
サポート	15
ご注意	15

既知の問題、制限、回避策

一般

HP は次の Microsoft セキュリティベストプラクティスを推奨

QCCR1M6497 HP は次の Microsoft セキュリティベストプラクティスを推奨

説明	HP では、HP CDA 1.20 を実行する Microsoft Windows Server システムを、Microsoft セキュリティベストプラクティスと、組織のセキュリティポリシーおよびプロセスに基づいて構成することを推奨します。
回避策	次のリンクを参照してください。 セキュリティ保護された Windows Server http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/dd548350%28v=ws.10%29.aspx

CDA モデルは Unix シェルおよび Windows PowerShell スクリプトツールだけをサポートする

QCCR1M2347 実行されるスクリプト共通コンポーネントがスクリプトを実行するインタープリターを指定しない

説明	レイヤーワークフロー (プラットフォームとアプリケーションの両方のレイヤーワークフロー) の実行済みスクリプトコンポーネントでは、HP CDA は現在 Linux/Unix プラットフォームのシェルスクリプトと Microsoft Windows の PowerShell スクリプトだけをサポートします。
回避策	アプリケーションおよびプラットフォームソフトウェアレイヤーワークフローの実行済みスクリプトコンポーネントで作成するデプロイメントスクリプトは、Linux/Unix プラットフォームのシェルスクリプトと Windows プラットフォームの PowerShell スクリプトだけにしてください。

韓国語 Linux プラットフォームに HP CDA をインストールできるが、サービスを開始できない

QCCR1M7423 L10N 最新の MR ビルドは韓国語 Linux プラットフォームに正常にインストールできるが、サービスを開始できない

説明	最新の HP CDA ビルドは韓国語 Linux プラットフォームにインストールできますが、サービスを開始できません。
回避策	この問題は、Linux システムに乱数生成器モジュールが存在しない場合に発生します。 このモジュールをインストールして構成するには、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 乱数生成器をインストールします。 <code>yum install rng-tools</code> インストール後に、<code>/etc/rc.d/rc.local</code> ファイルを編集して、次の行を見つけます。 <code># way how to increase entropy for /dev/random, entropy is fetched from /dev/urandom.It is not so solid but it work for Oracle</code> ここに次の情報を追加します。 <code>/sbin/rngd -r /dev/urandom -o /dev/random -t 55</code> システムを再起動します。

HP CDA 1.10 でパスワード暗号化が有効になっていると、インストールウィザードがアップグレード中に停止する

QCCR1M7200 CDA1.10 でパスワード暗号化が有効になっている場合、CDA 1.20 へのアップグレードは CLI から開始される

説明	HP CDA1.10 インストールでパスワード暗号化が有効になっている場合、HP CDA 1.20 にアップグレードしようとするときインストールウィザードが停止します。 ユーザーには次のメッセージが表示されます。 “Com.hp.systinet.configuration.pe.PasswordEncryptionException. 必要なパスワード暗号化パスフレーズが存在しません。password.encyrption.passphrase の Java プロパティとして指定してください。”
回避策	次の CLI コマンドを入力してインストーラーを起動します。 java - jar installer.jar -passphrase <CDA1.10 インストール時に指定したパスフレーズ>

Unicode 文字の名前を持つサーバーグループは正常に追加できるが、グループの詳細を取得できない

QCCR1M6109 CLI - I18N: Unicode 文字の名前を持つサーバーグループは正常に追加できるが、グループの詳細を取得できない

説明	HP CDA CLI でのみ、サーバーグループが正常に追加されているにもかかわらず、get オプション使用時にサーバーグループの詳細が表示されません。
回避策	List オプションを使用してサーバー詳細を表示します。

ローカライズされた日付/時刻形式が正しく表示されない

QCCR1M6918 I18N: 日付と時刻の形式が、CDA がインストールされているロケールに一致しない

説明	HP CDA の英語ビルドを英語以外のプラットフォームにインストールした場合、日付と時刻がローカル形式で表示されません。
回避策	日付と時刻がローカル形式で表示されるようにするには、製品のローカルビルドをインストールします。

アプリケーション

デプロイメントが失敗しても SA ジョブのステータスが「進行中」のままになる

QCCR1M3398 デプロイメントが失敗した場合に、SA NGUI に表示される SA ジョブのステータスは「失敗」になるべき

説明	状況によっては、失敗したジョブの全般的なステータスが、CDA UI では正しく表示されるのに、SA NGUI では正しくない場合があります。たとえば、CDA から起動された SA デプロイメントジョブが失敗した場合、CDA には「失敗」と正しく表示されますが、SA NGUI では全般的なステータスが「進行中」と表示されます。
----	---

回避策	CDA から起動したジョブのステータスは、CDA UI で確認します。
-----	-------------------------------------

HTTPS を外部ソースとして使用した場合、パスワードを完全な URL 文字列に格納するか、ワイルドカード文字*を使用する必要がある

QCCR1M6522 https を外部ソースとして使用する場合、ユーザーはパスワードを完全な URL 文字列に格納するか、ワイルドカード*を使用する必要がある

説明	ソフトウェアアーティファクトが外部 URL として HTTPS を指定した場合、アプリケーションデプロイメントが失敗します。
回避策	<p>HTTPS リンクにパスワードを追加するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> [管理者] > [概要] タブに移動します。ウィンドウの右側で、[保存されたパスワード] をクリックします。 [ユーザー名/パスワードの追加] をクリックして、次のどちらかを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 完全な URL 文字列 ワイルドカード文字*

アプリケーションデプロイメントが失敗したにもかかわらずアプリケーションデプロイメントステータスが「成功」になる

QCCR1M3318 Chef の問題:デプロイメントが成功し、アプリケーションの開始が「デプロイメント例外: デプロイメントを完了できない」によって失敗する

説明	アプリケーションデプロイメントが失敗した場合、ステータスは「成功」と表示されます。しかし、その後にユーザーがアプリケーションを開始しようとすると、失敗して例外が表示されます。
回避策	Chef で実行されるすべての実行済みスクリプトは、失敗時に明示的に 0 でないリターンコードを返す必要があります。

プラットフォーム

プラットフォームソフトウェア接続で構成されたポートが、HPCS でプロビジョニングされたセキュリティグループで有効にならない

QCCR1M6493 プラットフォームソフトウェア接続で構成されたポートが、HPCS でプロビジョニングされたセキュリティグループで有効にならない

説明	プラットフォームのエンドポイントと接続で構成されたポートが、プロビジョニング済みの HP Cloud Service ホストのセキュリティグループで開かれません。
回避策	プロビジョニング後にセキュリティグループで手動でポートを開きます。

モニター

デプロイ済みアプリケーションにモニタリングツールを適用できない

QCCR1M2128 デプロイ済みアプリケーションにモニタリングツールを適用できない

説明	HP CDA は、すでにデプロイされたアプリケーションに対するモニタリングツールの追加または変更をサポートしません。
----	--

回避策	アプリケーションをアンデプロイし、必要なモニタリングポリシーを割り当ててから、アプリケーションを再デプロイします。
-----	---

1つのモニター定義を複数のパラメーター定義で同じポリシーに追加できない

QCCR1M3219 1つのポリシー内で、異なるパラメーターを持つ同じ定義の2つのモニター(例、2つのURLモニター)が存在できない

説明	1つのモニター定義を複数のパラメーター定義で同じポリシーに追加することはできません。たとえば、パラメーターとしてURLを取るURLレイテンシモニターを、同じポリシー内で複数のURLパラメーターで定義することはできません。
回避策	<p>可能な回避策は2つあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 複数のモニター定義を作成し、それぞれにURL値を直接書き込みます。これらは異なるモニター定義なので、同じモニタリングポリシーに追加できます。 2. モニター定義のパラメーター値ごとに(たとえば、各URLパラメーターの値ごとに1つずつ)別のモニタリングポリシーを使用します。

複数のHP SiteScopeシステムから同じHP SiteScopeポリシーを同じターゲットディレクトリにデプロイできない

QCCR1M2299 複数のSiteScopesによってイベントの処理時に非一意例外が発生する

説明	複数のHP SiteScopeシステムから同じHP SiteScopeポリシーを同じターゲットディレクトリにデプロイすると、例外が発生します。
回避策	各HP SiteScopeインストールのモニターを別のターゲットディレクトリにデプロイすれば、この問題を回避できます。

クラウド管理ダッシュボード、クラウドインストールダッシュボード、クラウドコネクタ

プロジェクトトポロジが失敗状態のとき、そのトポロジを終了できない

QCCR1M 7301 失敗状態のトポロジを終了しようとする HTTP 409 エラーが発生する

説明	[プロジェクト] > [トポロジ] で、失敗状態 (状態=失敗) のトポロジに対してトポロジの終了アクションを選択すると、HTTP 409 エラーメッセージが表示されます。
回避策	<p>このアクションは実行しないでください。トポロジの終了アクションは、アクティブ状態 (状態=アクティブ) のトポロジ専用です。</p> <p>このアクションを誤って実行した場合は、エラーメッセージを閉じてください。</p>

HP CDA および HP CSA に対する提案を適用した後で、HP CDA クラウドインストールダッシュボード UI で値を変更しても、HP CDA および HP CSA に反映されない

QCCRIM 7242 CDA または CSA に対する提案を適用した後で管理 UI で値を変更してもそれぞれの構成に反映されない

説明	HP CDA および HP CSA に対する提案を適用した後で、HP CDA クラウドインストールダッシュボード UI で値を変更しても、HP CDA および HP CSA に最終的に反映されません。
回避策	HP CDA および HP CSA に対する提案を適用した後で、HP CDA クラウドインストールダッシュボード UI で値を変更することはサポートされません。HP CDA および HP CSA バックランプはそれぞれのインストーラーのラッパーであり、インストーラーはインストール時に1回しか実行されないのので、後でCosmos UIで値を変更しても適用されません。後で変更を行うにはHP CDA/CSAのUIを使用する必要があります。

サービス定義で切り詰めが生じ、後のプロビジョニングが失敗する

QCCRIM 7298 リソースプールのサービスバージョンの追加が切り詰められ、SkyLine からのインスタンスの起動がリソースプールにロードバランスサービスの定義を見つけられない

説明	[プロジェクト] -> [リソースプール] -> [サービス定義の編集] で、ユーザーはサービスの [バージョン] フィールドの値を編集できますが、これらの値は切り詰められます。たとえば、浮動小数点数 1.0 と 23.0 に見える値は、それぞれ 1 と 23 に切り詰められます。これにより、リソースプールに対する後のプロビジョニングが失敗する可能性があります。
回避策	問題は、サービス間でデータを受け渡すために使用されるコアライブラリにあります。したがって、この状況を回避するには、バージョン番号を浮動小数点数以外で入力する方法があります。たとえば、1.0と入力するのではなく、小文字の「v」を前に付けます(例、v1.0)。

[ドキュメントのインポート] ボタンによるドキュメントのインポートが失敗する

QCCRIM 7284 以前のエクスポートからインポートしたインフラストラクチャーデザインドキュメントがプロビジョニング時に次のエラーで失敗する: {"statusCode": 500, "message": "internal error, "details": "template cannot be null or empty"}

説明	[プロジェクト: ドキュメント] パネルには [ドキュメントのインポート] ボタンがあります。このボタンを使用してインフラストラクチャーデザインドキュメントをインポートした場合、ドキュメントが動作せず、そのドキュメントの起動が失敗することがあります。基本的に、ユーザーはインフラストラクチャーデザインドキュメントがクラウド間で移動可能でないことに気づかずにインポートすることがあります。
回避策	インフラストラクチャーデザインドキュメントのクラウド間での移動はサポートされません。インフラストラクチャーデザインドキュメントをあるクラウドでエクスポートして、別のクラウドにインポートすることはできません。この状況が発生した場合、警告メッセージが表示されます。

サイズ制限内に見えるボリュームの作成が失敗する

QCCRIM6128 許容範囲内に見えるサイズのボリュームを作成しようとすると失敗するが、ボリュームテーブルには表示される

説明	ユーザーがボリュームクォータの範囲内に見えるサイズのボリュームを作成すると、システムはボリュームが作成されたというメッセージを表示しますが、ボリュームは正常に作成されていません。
----	---

回避策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 管理者としてログインしている場合は、Novaはすべてのボリュームを返します。ダッシュボードを通じて新しいボリュームを作成しようとする、ボリュームクォータに作成可能なボリュームがないと表示される場合があります。この場合、ログアウトしてから、管理者でなくユーザーとしてログインしてください。 2. システム管理者が、制限に指定されたサイズより大きいボリュームのプールを作成する必要があります。または、 3. ボリューム制限のサイズを、実際に利用可能なディスクのサイズ以下に減らします。
-----	---

インフラストラクチャー内のサーバーグループコンポーネントに対してオペレーティングシステムが表示されない

QCCR1M6134 HP CDA - [プラットフォーム] > [デザイナー] タブ、[ハードウェアと OS] タブの [割り当てられた機能] に OS リストが記載されない

説明	インフラストラクチャー内のサーバーグループコンポーネントに対してオペレーティングシステムが表示されません。プラットフォームデザイナーを表示してサーバーグループのプロパティにアクセスすると、オペレーティングシステムが記載されません。
回避策	<p>特定のHP Cloud Connectorリソースバインディングドキュメントに基づいてインフラストラクチャーを作成します。その後、オペレーティングシステムを設定します。</p> <p>オペレーティングシステムを設定するには、プラットフォームデザイナーを使用するプロセス (HP CDAオンラインヘルプに記述) を実行して、インフラストラクチャーテンプレートのハードウェアとオペレーティングシステムを更新します。</p>

クラウドコネクターとドメインコントローラーが同じノードにある場合に、HPCS へのアクセスまたは外部イメージのアップロードが失敗する

QCCR1M 7078 Quasar と Nova-Controller が同じノードにある場合に、HPCS へのアクセスまたは外部からのイメージアップロードが失敗する

説明	クラウドコネクターとドメインコントローラーが同じノードにある場合に、コントローラーノードに対する外部 (パブリック/インターネット) アクセスの構成が失敗します。
回避策	<p>この回避策は、ドメインコントローラーとコンピューリージョンコントローラーのサービスが同じコントローラーノードを共有するクラウドインフラストラクチャーに使用可能です。</p> <p>次のシナリオでは、クラウド管理ノードで設定されるパブリックネットワーク環境とは別に、コントローラーに対して外部 (インターネット) ネットワークに直接アクセス可能な追加のインターフェイスを用意する必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • シナリオ1. HPクラウドサービスにインスタンスをプロビジョニングできるクラウド環境を設定する場合。 • シナリオ2. プライベートクラウドに外部Web URLから直接イメージをアップロードする場合。 <p>コントローラーノードへの外部アクセスを設定するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コントローラーノードの電源をオフにします。 2. インターネットに直接外部アクセスできる別のネットワークインターフェイスカードをコントローラーノードに追加します。 3. ノードの電源をオンにします。 4. 次のコマンドを実行して、既存のデフォルトゲートウェイを削除します。 <pre>route delete -net 0.0.0.0 gw <クラウドインストールダッシュボードで定義されたパブリックネットワークゲートウェイ></pre> <p>例 :</p> <pre>route delete -net 0.0.0.0 gw 10.1.128.10</pre>

	<p>5. 次のコマンドを実行して、eth3でDHCP IPを要求します (新しく追加したインターフェイスがeth3として検出され、このネットワークがDHCPアドレスを発効すると仮定します)。</p> <p>例: dhclient eth3</p> <p>6. ステップ4と5をブートシーケンスに組み込みます。これを行わないと、これらの構成はコントローラーノードを次にリブートしたときに失われます。</p>
--	---

HP CDA との統合

マルチテナントが ALM でサポートされない

QCCR1M7414 CDA_ALM 統合: ALM が [CDA] > [デフォルトのドメイン] だけをサポートし、マルチテナントをサポートしない

説明	ALM-CDA 統合はマルチテナントをサポートしません。
回避策	ALM-CDA 構成では、CDA のデフォルト (システム) ドメインを使用します。

CSA の公開で定義済みのブール値が使用できない

QCCR1M 6518 CSA の公開で定義済みのブール値が使用できない

説明	<p>CDA-CSA 統合で、プラットフォームソフトウェアまたはアプリケーションに対して、カスタムの true および false 値を持つブール値パラメーターを公開すると失敗します。</p> <p>CDA から CSA へのプラットフォームおよびアプリケーションの公開は成功しますが、CSA から CDA へのサブスクリプションは失敗します。</p>
回避策	<p>CDA-CSA 統合で使用するプラットフォームソフトウェアまたはアプリケーションに対するブール値パラメーターは、次の挙動を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ブール値パラメーターの値が "true" / "false" (小文字) の場合のみ動作します。 現在のデフォルト値である "True" / "False" では動作しません。 "Value true" / "Value false" などのカスタム値はすべて動作しません。

HP ALM で、同じまたは新しい HP CDA サーバーを追加すると、HP ALM から HP CDA への接続が失敗する

QCCR1M7241 ALM - CDA : 新しい CDA インスタンスが ALM から参照されるたびに、ALM サービスを再起動する必要がある

説明	<p>この問題は、HP CDA サーバーが HP ALM Performance Center の [ラボ管理] タブにすでに追加されており、次のいずれかが発生した場合に起こります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同じ HP CDA サーバーが削除されてから再度追加された。 別の HP CDA サーバーが追加された。 <p>現象: エラーメッセージが表示されます。</p> <p>主なソフトウェアコンポーネント: HP ALM、HP CDA。</p> <p>エラーメッセージ: “ALM は CDA サーバに接続できませんでした。システム管理者に問い合わせてください。”</p> <p>考えられる原因: HP ALM のサードパーティコンポーネントのキャッシュの問題が考えられます。</p>
----	--

回避策	<p>HP CDA に管理者ユーザーでログインして、ユーザーインターフェイスで次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [管理] タブをクリックして、管理の [ホーム] ウィンドウを開きます。 2. [管理] メニューで [構成] を選択して [構成] ウィンドウを開いてから、[システム設定] タブをクリックします。 3. [名前] テキストボックスに「shared.usermanagement.database.lwssso.issueCookie」と入力して、このシステム設定を検索します。 4. [編集] アイコンをクリックして、システム設定を編集し、値を "false" に設定して、設定を保存します。
-----	--

HPCS で、パラメーター{server.hostname}がプロビジョニング時とデプロイメント時で異なる値を返す

QCCR1M6597 HPCS デプロイメントで、パラメーター{server.hostname}がプロビジョニング時とデプロイメント時で異なる値を返す

説明	<p>プラットフォームソフトウェア (Diagnostic プローブなど) をデプロイする場合、プロビジョニング時に HP CDA から提供されるホスト名 ("\${server.hostname}" など) は、これらのプロビジョニング済みホストにアプリケーションソフトウェアをデプロイする際に HP CDA から提供されるホスト名と異なります。</p> <p>HP Diagnostics では、プローブ名がホスト名から作成されるため、アプリケーションソフトウェアのモニタリング用のしきい値のデプロイで問題が生じます。</p>
回避策	<p>回避策は使用するプラットフォームソフトウェアによって異なります (アプリケーションのデプロイ時の構成にホスト名が使用されるかどうかなど)。</p> <p>HP Diagnostics の場合は、プラットフォームソフトウェアのデプロイワークフローを編集して、<code>\${server.hostname}</code> ではなく <code>\${server.ipaddress}</code> を使用するだけで済みます。</p> <p>回避策を実装するには、次の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [プラットフォーム] タブで [ソフトウェアの参照] をクリックします。 2. Diagnostics プローブソフトウェアを選択して、[ワークフロー] タブを選択します。 3. デプロイワークフローにはいくつかのステップがあります。最後の方のステップの 1 つに、入力コンポーネントパラメーターとして "application.server.hostname" があるはずですが、このパラメーターを編集して <code>\${server.ipaddress}</code> を参照するようにします。

クラウド上でプロビジョニングされるサーバーのパブリック IP に HP CDA でアクセスできない

QCCR1M 7306 HPCS パブリック IP が CDA の参照変数ではない

説明	<p>クラウド上でプロビジョニングされるサーバーのパブリック IP には、HP CDA ではアクセスできません。このシナリオでは、HP OA は Chef をデプロイヤープラグインとして使用することのみインストールできます。HP CDA は OA インスタンスのプライベート IP だけをクラウド上で公開できるので、SSH は使用できません。</p>
回避策	<p>OM をクラウドに接続するには、HP OM のモニターサーバーを、HP OM のパブリック IP と SSH キーを使用して構成する必要があります。</p>

ALM がビルド検証中にレポートページを起動できない

QCCR1M 2865 CDA-ALM: ALM レポートページの起動でエラーが発生する

説明	<p>ALM がビルド検証中にレポートページを起動できません。</p>
----	-------------------------------------

	これは、ALM がクライアントマシンからアクセスされた場合に発生します (ALM サーバースystem だけの場合はうまく行きます)。
回避策	ALM サーバーのホスト名にハイフンまたは下線文字が含まれないようにしてください。 ホスト名に下線またはハイフンが含まれる場合、ALM にアクセスするには IP アドレスを指定する必要があります。

Matrix Operating Environment テンプレートで ICMP を有効にするとファイアウォールで負のポートが使用できない

QCCRIM 6495 MOE テンプレートで ICMP を有効にすると、ポートが 0 であるためにファイアウォールが HPCS で動作しない (HPCS は-1 を期待)

説明	Matrix Operating Environment テンプレートに ICMP を追加した場合、ファイアウォールは負でないポートに対してのみ ICMP を開きます。 HP Cloud Service で ICMP ping が動作するためには、ポート-1 から-1 へ ICMP を開く必要があります (これは Nagios モニタリングで必要です)。
回避策	プロビジョニング済みホストのセキュリティグループを編集して、ポート-1 から-1 への ICMP を追加します。

Chef がデプロイヤープラグインとして使用されている場合、HP Operations Manager エージェントがデプロイされない

QCCRIM 7234 Chef をデプロイヤープラグインとして使用すると OM Operations エージェントがデプロイされない

説明	プラットフォームソフトウェア "HP Operations Agent for Unix" をデプロイする際に、Chef がデプロイヤーに使用されていると、実行スクリプトにタイプが指定されていないためデプロイメントが失敗します。
回避策	次の行を追加します。 " #!/bin/sh " 追加先は次の場所です。 HP Operations Agent for Unix -> デプロイ -> Operations Agent をインストールして Operations Manager に構成

HP CDA-OM 統合インストーラーがイベントの転送 Groovy スクリプトを開始する際に既存の.jar ファイルを使用しない

QCCRIM 7277 CDA OM 統合スクリプトは OM にすでに存在する従属 jar を使用すべき

説明	転送 Groovy スクリプトの開始に必要な jar ファイルが 1 つのディレクトリに存在しないため、CDA プロセスはこれらのファイルを /opt/lib ディレクトリに置かないと起動しません。
回避策	<ol style="list-style-type: none"> 次のディレクトリを作成します。 /opt/lib 次の jar ファイルを /opt/OV/OMU/adminUI/lib/midas/ から /opt/lib にコピーします。 <ul style="list-style-type: none"> cp /opt/OV/OMU/adminUI/lib/midas/commons-beanutils-1.8.3.jar /opt/lib cp /opt/OV/OMU/adminUI/lib/midas/commons-codec-1.4.jar /opt/lib cp /opt/OV/OMU/adminUI/lib/midas/commons-collections-3.2.1.jar /opt/lib cp /opt/OV/OMU/adminUI/lib/midas/commons-lang-2.5.jar /opt/lib

	<p>3. 次の jar ファイルを /opt/OV/nonOV/OpC/java/ から /opt/lib にコピーします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • cp /opt/OV/nonOV/OpC/java/commons-logging.jar /opt/lib • cp /opt/OV/nonOV/OpC/java/groovy-all.jar /opt/lib • cp /opt/OV/nonOV/OpC/java/xercesImpl.jar /opt/lib • cp /opt/OV/nonOV/OpC/java/xalan.jar /opt/lib <p>4. 次の jar ファイルを /opt/OV/OMU/adminUI/lib/cli/ から /opt/lib にコピーします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • cp /opt/OV/OMU/adminUI/lib/cli/httpclient-4.1-alpha2-SNAPSHOT.jar /opt/lib • cp /opt/OV/OMU/adminUI/lib/cli/httpcore-4.1-alpha2-SNAPSHOT.jar /opt/lib <p>5. 次の jar ファイルを /opt/lib にコピーします。 cp/opt/OV/nonOV/tomcat/b/www/webapps/sutk/cwc/js/dojo/dojox/off/demos/editor/server/lib/json-lib-1.0b2-jdk13.jar /opt/lib.</p> <p>6. jar ファイル http-builder-0.5.1.jar と xml-resolver-1.2.jar (インターネット) をダウンロードし、ディレクトリ /opt/lib にコピーします。</p>
--	---

「依存するサービスのチェック」アクションが間違っただレベルに存在する

QCCRIM 7421 CDA は「依存するサービスのチェック」アクションをルートコンポーネントレベルに置くべき

説明	「依存するサービスのチェック」アクションが間違っただレベルに存在します。これは、HP CDA がダウンしているときに CDA サブスクリプションのキャンセルを (HP CDA から HP CSA に公開されたサービスデザインを使用して) 行うと明らかになります。
回避策	<p>可能な回避策は2つあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HP CDA プラットフォームを公開した直後にアクションを手動で移動します (たとえば、下位のコンポーネントから削除して上のルートコンポーネントに追加します)。 2. HP CSA サブスクリプションのキャンセルは、HP CDA が正常に利用可能な状態で行うようにします。

HP OM サーバーとエージェントが HPCS クラウド内にある場合に、コンテキスト URL とアラートが動作しない

QCCRIM 7278 OM サーバーとエージェントが HPCS クラウド内にある場合に、コンテキスト URL が動作しない

説明	<p>コンテキスト URL とアラートがアプリケーションデプロイメントに表示されません。</p> <p>Matrix Operating Environment は HP CDA でホスト名でなく IP アドレスを提供するため、HP Cloud からプロビジョニングされたノードはノード名を持たず、HP CDA のサーバーの HOSTNAME 参照変数で利用できません。</p>
回避策	<p>この問題を解決するには、Operations Agent プラットフォームソフトウェアをデプロイする前に自動付与スクリプトを変更します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファイル /opt/OV/contrib/OpC/autogranting/postcsad.sh を見つけます。このスクリプトを使用して、エージェントが OM ノードバンクに追加された後でノード名を変更できます。 2. 次のコマンドを追加します。 address=`echo \$2 awk -F= '{ print \$2}'` /opt/OV/contrib/OpC/opcchgaddr -force -label \$node NETWORK_IP \$address \$node NETWORK_IP \$address \$address <p>これにより、postcsad.sh の内容は次のように変更されます。 #!/bin/sh</p>

```
date >>/tmp/csad.out
echo postcsad.sh : $* >>/tmp/csad.out
node=`echo $1 | awk -F= '{ print $2}'`
address=`echo $2 | awk -F= '{ print $2}'`

echo Nodename = $node >>/tmp/csad.out
/opt/OV/contrib/OpC/opcchgaddr -force -label $node NETWORK_IP
$address $node NETWORK_IP $address $address
/opt/OV/bin/OpC/utils/opcnode -assign_node node_name=$node
net_type=NETWORK_IP group_name="SI-Deployment" >>/tmp/csad.out
opclaygrp -add_lay_group node_hier=NodeBank lay_group=CDA_Nodes
lay_group_label=CDA_Nodes > /dev/null
/opt/OV/bin/OpC/utils/opcnode -move_nodes node_list=$node
node_hier=NodeBank layout_group=CDA_Nodes
/opt/OV/bin/OpC/opcsw -installed $node
# /opt/OV/bin/OpC/opcragt -dist -simulate $node >>/tmp/csad.out
sleep 1
/opt/OV/bin/OpC/opcragt -dist $node -highprio >>/tmp/csad.out

sleep 1
/opt/OV/bin/OpC/opcragt -dist $node -highprio >>/tmp/csad.out
```

サポート

HP ソフトウェアサポート Web サイトは次の URL からアクセスできます。

<http://support.openview.hp.com/>

このサイトでは、HP のお客様窓口のほか、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HP ソフトウェアオンラインソフトウェアサポートではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HP ソフトウェアサポートサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、有効なサポート契約が必要です。サポートのアクセスレベルの詳細については、次の URL を参照してください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Passport ID を登録するには、次の URL にアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)

ご注意

© Copyright 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

サードパーティライセンス契約の詳細については、製品インストールメディアの Licenses ディレクトリを参照してください。